新潟県立新潟工業高校において出前ＰＲ講座を開催いたしました

次のとおり出前ＰＲ講座を開催したので、お知らせいたします。

１　日　時　令和５年６月２０日（火）午後１時３７分から２時３０分まで

２　場　所　新潟県立新潟工業高等学校３年建築科２組教室

３　対象者　建築科建築設備コース３年生３８人

４　講座の内容

(1) あいさつ・講義１

　　①　テーマ　「最近注目されている設備業界」

　　②　講　師　一般社団法人新潟県設備設計事務所協会　会　長　中　野　　元

(2) 講義２

①　テーマ　「私の仕事体験談及び若い皆さんに期待すること」

　　②　講　師　北陸ガス株式会社新潟支社

家庭用営業グループマネージャー　半　間　博　之　様

５　生徒さんの主な感想

 (1) 中野会長の講話

・未来も設備の仕事がなくなることがなく、設備の仕事が増えていくと考えられ

ていると教えていただき、設備の仕事の重要性がよく分かりました。

・現在の日本にはより一層設備の仕事が必要だと改めて感じることができました。

日々過ごしている時間の中で、もう少し設備のことを考えて周りの建物を見て

いきたい。

・私は空調などで人々の暮らしを支える仕事がしたいと思っています。空調は

人々にとって大事な存在であり、生きていく上でずっと必要なものだからです。

私は空調の仕事をして、育ててくれた地域に恩返しをしたいと思いました。

・日本の人口がだんだんと減少していく中で、設備会社の人手も不足していると

いうこともお話しされていましたが、自分はこの話を聞き、とても有益な情報を

もらえたと思いました。今回の話は、とても自分のためになる話で将来のことを

考えるきっかけになって良かったと思います。

・私は今回のお話を聞いて、設備業界は今伸びていると知って、もう一度進路に

ついて考えてみようと思いました。

・設備の仕事をしている会社が注目されているのはとてもすごいことだし、僕た

ちもこれからそういう仕事に就くので、今日の話はとても為になりました。

もっとみんなからこの設備の世界が注目されてほしいし、僕も役に立てるよう

になりたいと思いました。新潟県設備設計事務所協会の会長がわざわざ僕たちの

ためだけに、お話をしてくれてとても良い経験でした。

・設備設計事務所協会の会長は、100社以上の会社の集まりの会長であると言っ

ていたので、とにかくすごい仕事だと思いました。やはり人材が足りていないの

は本当で、自分たちが頑張っていかなければいけないんだなと思いました。中野

さんが実際に工業高校の配管の修復に携わったとのことで、すごく身近に感じた

し、自分も職に就いたら大きな建物や有名な建築の現場に携わりたいと思いまし

た。今、設備の業界が大きくなっている中で人が足りていないとのことだったの

で、自分が少しでも力になれたら良いと思います。

いつかは自分も会長さんくらいの立場になってまわりを纏め上げたり、みんな

の中心になってみたいと思います。そのためには、まずは今できることを精一杯

頑張って自分の短所をなくしたいと思います。

・建築の分野の中でも設備の仕事が今注目されていると知り、自分たちが学んで

きたことは、とても将来に繋がる分野を学んでいるんだなぁと改めて感じること

ができました。

(2) 半間様の講話

・半間様は３５年間も北陸ガスで働いています。私は同じところでこんなに長く

続けられるか不安です。そして、これから就職したときに向けてのアドバイスを

いただきました。特に、印象が強かったのが大事なことは、1回しか言ってもら

えないということです。忘れないようにメモを取ることが大切であると教えてい

ただきました。「メモを取れ」と、高校に入学してからよく言われてきましたが、

自分は全然メモを取りませんでした。今からでも遅くないので、メモを取る癖を

つけたいと思います。

・今回の話を聞いて、将来社会人として仕事をすることに対しての不安感がとて

も減りました。私は自分のやりたいことが分からず、こんな状態で社会人として

働けるのかとても不安でした。しかし、半間さんの言葉でハッとしました。初め

て社会人として働く中でミスしない人はいないし、慣れるのにもすごく時間がか

かります。なので、もっと楽観的に前向きに物事を考えて働こうと思いました。

そういった考えでいれば働いているうちに仕事のやりがいも必ず見つかると

思います。人生は長いので、目の前の悩み事ばかり考えず、もっと長い目で見て

楽しく生きていきたいと思いました。

・私たちのために貴重なお話をしていただきありがとうございました。私も強い

人間になりたいと感じると同時に、仕事をするということは難しいことの繰り返

しだなとも感じました。

・半間様の話を聞いて良かったと思ったことが２つあります。１つは仕事の大切

さについて、そして２つ目はやりがいについてです。

・北海道でおきた地震のエピソードが印象に残っています。ガスの仕事は、私が

思っていた以上に過酷で驚きました。数々の経験を積んで来た人の言葉は少し重

いものがありました。

・どのような流れで就職し、その後どのようなことがあったか、分かりやすくお

話ししていただいたので、自分とも比較しながら聞くことができました。自分た

ち若者が頑張らなくてはならないなと思いました。

・話を聞いて、仕事に就いたら、やりがいを見つけることが仕事をする上で大切

であるということが分かりました。いやな仕事でも楽しんですることが結果も良

い方向に向かうと聞いたので、私もいやな仕事も楽しみたいと思いました。

・新潟工業生の先輩だったからこそ、親近感がありました。

・自分は怒られたりすると悩み込んでしまい心配になることがあるのですが、考

え込み過ぎずに何とかなるというプラスにとらえることが大切なんだなぁと感

じました。

・自分も働いたら、災害などの体験が仕事に影響するかも知れません。そのよう

なことも考えながら半間さんの話を聞いていて、進路のことや今の自分の状況を

深く考えることができました。

・半間さんの話を聞いて印象に残った言葉が三つあります。一つは「わからない

ことはそのままにしない」です。この言葉は勉強や仕事などの新しい知識を学ぶ

上でとても大切だと思いました。

二つ目は「苦しいときほど行動をする」です。自分が苦しい状況に陥ったとき、

失敗を恐れて何もしなかったり人から助けられるのを待ったりするのではなく、

多少無理をしてでも何か行動を起こしたり自分から助けを求める力が必要だと

感じました。

そして、三つ目は、もし自分で行動した結果がうまくいかなかったとしても、

「自分で決めて行動したことは無駄にはならない」ということです。失敗したこ

とやうまく行かなかったとしても、その経験は必ずどこかで自分の役に立つこと

を半間さんの経験談から学びました。

この三つの言葉を自分の教訓として、これからの就職活動や社会人活動に臨も

うと思いました。